

学校教育目標	【生きるよろこび 学ぶ楽しさ のびのび 飯島っ子】				
	知 自ら課題を見つけ、追究し続ける子 徳 一人ひとりがかけがえのない存在であることを認め、共に学び合える子 体 命を大切に、健やかな心と体をつくる子 公・開 学校や地域の一員であることを自覚し、すすんで行動する子				
学校概要	創立 51 周年	学校長 尾上 伸一	副校長 大澤 隆	2 学期制	一般学級：18 個別支援学級：5
	児童生徒数： 554 人		主な関係校：飯島中学校 千秀小学校 (豊田小学校)		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分や友達のよさを認める力> <共に学び合う力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	飯島中学校 千秀小学校 飯島小学校	○学校や地域・社会の一員としての役割を自覚し、共に生きようとする子 ○自ら課題を見つけ、追求し、解決しようとする子 ○一人ひとりが認め合い、共に学び合う子 ①義務教育を終える段階で身につけておくべき資質・能力を明確化し、その具現の視点をもって各教科等の改善・充実を図る。②児童・生徒一人ひとりの発達課題や教育的ニーズをきめ細かく捉え、ニーズに応じた指導・支援を行う。③地域の人的・物的資源を活用し、社会教育との連携を図り、子ども像を社会と共有・連携しながら実現させる。

中期取組目標	【社会に開かれた教育課程の編成・運営・改善を図り、地域と共にインクルーシブ教育を充実させる】
	○特別支援教育 一人ひとりの子どもが、生活や学習に見通しと目的意識をもてるようにする。 ○教育課程・学習指導 基礎・基本を定着させ、学んだことが生きる力につながるよう思考力・判断力・表現力を高めていく。 ○地域連携 地域とつながる体験的な学びを通して、子どもが主体的・探究的に活動できるようにする。

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①生活科・総合的な学習を基盤として、そこで高めた子どもの思いを生かし、横断的に教科等の学習を行っていく。 ②活動を通すことで、効果的に教科等の身に着ける力を獲得できるように、体験的な活動を多く取り入れる。
豊かな心	①YPアセスメントを複数回実施し、各学級の実態把握をするとともに、学年で共有する時間をとり、より多くの目で児童理解を進める。 ②各教科の中でもより多くの地域の方々とかかわり、生き方や観知にふれる体験を重ねて、自らの生き方や学び方を深める。
健やかな体	①「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活をする姿勢を培い、「なわとび集会」など、楽しく体を動かす活動に取り組む。 ②家庭と連携した食育、歯科保健教育を実施する。また、学校保健委員会では、ノーメディアチャレンジとして、家庭でのメディアとの付き合い方について考える。
特別支援教育	①インクルーシブの視点に立って一般級と個別級の連携強化を図る。遠足、学年研や宿泊行事の打合せに個別支援級教師がより深くかかわったり、逆交流や休み時間の交流を進める。 ②心サポート・学習サポートに加えて国際教室の学習をチームティーチングで行い、社会的スキルや学習面でのスキルアップを図る。
教育課程・学習指導	①子どもの豊かな体験が基盤となる教育課程をもとに実践を行い、積極的に地域と関わり、関係を広めたり深めたりする。 ②これまで作り上げてきたひまわりカリキュラムを充実させるとともに、SDGsの視点に沿った単元開発を、重点研で研究を進める。
地域連携・学校運営協議会	①全教職員と地域交流室メンバーとが一堂に会し、地域でできる学習活動の見通しをもてるようにする。 ②リビングラボ等のワークショップを通して学校と地域の協働を図る。
いじめへの対応	①携帯・スマホの安全な使い方やいじめ防止の啓発資料を保護者向けに配布し、学校の取り組みの理解や協力を呼びかけ未然防止に努める。 ②自尊感情や自己有用感を高められるように、「わかる」「できる」授業を目指す。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①児童支援専任を中心に校内・関係機関との連携をもち、子ども理解のための児童支援体制を図る。 ②教科担任制による学年間の情報共有や教材研究の充実、メンターチームによる教師力向上とチーム力のアップを図る。 ③学校ボランティア、外部講師、地域人材・施設等の活用など、地域との連携を深める。